

### Q0001

不動産

タグ：所有権

用語：所有権の確認ポイント1：法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

次の説明に最も合う用語はどれか。法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

- A. 抵当権
- B. 所有権
- C. 公示価格
- D. 普通借家契約

### 答え・解説

Q0001 正答：B. 所有権

解説：所有権は、法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

### Q0002

不動産

タグ：所有権

用語：所有権の確認ポイント2：法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

所有権の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利
- B. 国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格
- C. 法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利
- D. 正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

### 答え・解説

Q0002 正答：C. 法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

解説：所有権の要点は「法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

### Q0003

不動産

タグ：所有権

用語：所有権の確認ポイント3：法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「所有権」である。

- A. 抵当権：法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利
- B. 公示価格：法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利
- C. 普通借家契約：法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利
- D. 所有権：法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

### 答え・解説

Q0003 正答：D. 所有権：法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

解説：正しい組合せは「所有権：法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利」。  
用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

### Q0004

不動産

タグ：所有権

用語：所有権の確認ポイント4：法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

「所有権」は、法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0004 正答：○

解説：正しい。所有権は法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

### Q0005

不動産

タグ：所有権

用語：所有権の確認ポイント5：法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

組織が「法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 抵当権
- B. 所有権
- C. 公示価格
- D. 普通借家契約

### 答え・解説

Q0005 正答：B. 所有権

解説：この目的に対応するのは所有権である。法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利という機能・考え方を持つためである。

### Q0006

不動産

タグ：所有権

用語：所有権の確認ポイント6：法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

「所有権」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約
- B. 国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格
- C. 法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利
- D. 債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

### 答え・解説

Q0006 正答：C. 法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

解説：所有権は法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

### Q0007

不動産

タグ：所有権

用語：所有権の確認ポイント7：法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

「所有権」は、債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0007 正答：×

解説：誤り。記述は抵当権の説明である。所有権は法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利。

### Q0008

不動産

タグ：所有権

用語：所有権の確認ポイント8：法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

次の状況で中心となる論点はどれか。「法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利」ことが求められている。

A. 所有権

B. 公示価格

C. 普通借家契約

D. 抵当権

### 答え・解説

Q0008 正答：A. 所有権

解説：中心となる論点は所有権である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

### Q0009

不動産

タグ：所有権

用語：所有権の確認ポイント9：法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

所有権は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0009 正答：×

解説：誤り。所有権は法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

### Q0010

不動産

タグ：所有権

用語：所有権の確認ポイント10：法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

所有権と他の類似概念を区別する際は、「法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0010 正答：○

解説：正しい。所有権の定義は法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利であり、類似概念との区別に使える。

### Q0011

不動産

タグ：抵当権

用語：抵当権の確認ポイント1：債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

次の説明に最も合う用語はどれか。債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

- A. 不動産登記
- B. 路線価
- C. 抵当権
- D. 定期借家契約

### 答え・解説

Q0011 正答：C. 抵当権

解説：抵当権は、債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

### Q0012

不動産

タグ：抵当権

用語：抵当権の確認ポイント2：債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

抵当権の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度
- B. 相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格
- C. 契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約
- D. 債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

### 答え・解説

Q0012 正答：D. 債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

解説：抵当権の要点は「債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

### Q0013

不動産

タグ：抵当権

用語：抵当権の確認ポイント3：債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「抵当権」である。

- A. 抵当権：債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利
- B. 不動産登記：債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利
- C. 路線価：債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利
- D. 定期借家契約：債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

### 答え・解説

Q0013 正答：A. 抵当権：債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

解説：正しい組合せは「抵当権：債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

### Q0014

不動産

タグ：抵当権

用語：抵当権の確認ポイント4：債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

「抵当権」は、債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0014 正答：○

解説：正しい。抵当権は債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

### Q0015

不動産

タグ：抵当権

用語：抵当権の確認ポイント5：債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

組織が「債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 不動産登記
- B. 路線価
- C. 抵当権
- D. 定期借家契約

### 答え・解説

Q0015 正答：C. 抵当権

解説：この目的に対応するのは抵当権である。債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利という機能・考え方を持つためである。

### Q0016

不動産

タグ：抵当権

用語：抵当権の確認ポイント6：債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

「抵当権」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約
- B. 相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格
- C. 土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度
- D. 債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

### 答え・解説

Q0016 正答：D. 債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

解説：抵当権は債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

### Q0017

不動産

タグ：抵当権

用語：抵当権の確認ポイント7：債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

「抵当権」は、土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0017 正答：×

解説：誤り。記述は不動産登記の説明である。抵当権は債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利。

### Q0018

不動産

タグ：抵当権

用語：抵当権の確認ポイント8：債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

次の状況で中心となる論点はどれか。「債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利」ことが求められている。

A. 路線価

B. 抵当権

C. 定期借家契約

D. 不動産登記

### 答え・解説

Q0018 正答：B. 抵当権

解説：中心となる論点は抵当権である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

### Q0019

不動産

タグ：抵当権

用語：抵当権の確認ポイント9：債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

抵当権を選定するときは、「債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0019 正答：○

解説：正しい。抵当権の選定・運用では、債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利という目的との適合を確認する。

### Q0020

不動産

タグ：抵当権

用語：抵当権の確認ポイント10：債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利

抵当権は、債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0020 正答：×

解説：誤り。抵当権はまさに債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利という意味を持つ。

### Q0021

不動産

タグ：不動産登記

用語：不動産登記の確認ポイント1：土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度

次の説明に最も合う用語はどれか。土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度

- A. 公示価格
- B. 重要事項説明
- C. 借地権
- D. 不動産登記

### 答え・解説

Q0021 正答：D. 不動産登記

解説：不動産登記は、土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

### Q0022

不動産

タグ：不動産登記

用語：不動産登記の確認ポイント2：土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度

不動産登記の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度
- B. 国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格
- C. 宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続
- D. 建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

### 答え・解説

Q0022 正答：A. 土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度

解説：不動産登記の要点は「土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

### Q0023

不動産

タグ：不動産登記

用語：不動産登記の確認ポイント3：土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「不動産登記」である。

- A. 公示価格：土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度
- B. 不動産登記：土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度
- C. 重要事項説明：土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度
- D. 借地権：土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度

### 答え・解説

Q0023 正答：B. 不動産登記：土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度

解説：正しい組合せは「不動産登記：土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

### Q0024

不動産

タグ：不動産登記

用語：不動産登記の確認ポイント4：土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度

「不動産登記」は、土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0024 正答：○

解説：正しい。不動産登記は土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

### Q0025

不動産

タグ：不動産登記

用語：不動産登記の確認ポイント5：土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度

組織が「土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 公示価格
- B. 重要事項説明
- C. 借地権
- D. 不動産登記

### 答え・解説

Q0025 正答：D. 不動産登記

解説：この目的に対応するのは不動産登記である。土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度という機能・考え方を持つためである。

### Q0026

不動産

タグ：不動産登記

用語：不動産登記の確認ポイント6：土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度

「不動産登記」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度
- B. 建物所有を目的として他人の土地を利用する権利
- C. 宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続
- D. 国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

### 答え・解説

Q0026 正答：A. 土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度

解説：不動産登記は土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

### Q0027

不動産

タグ：不動産登記

用語：不動産登記の確認ポイント7：土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度

「不動産登記」は、国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0027 正答：×

解説：誤り。記述は公示価格の説明である。不動産登記は土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度。

### Q0028

不動産

タグ：不動産登記

用語：不動産登記の確認ポイント8：土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度

次の状況で中心となる論点はどれか。「土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度」ことが求められている。

A. 重要事項説明

B. 借地権

C. 不動産登記

D. 公示価格

### 答え・解説

Q0028 正答：C. 不動産登記

解説：中心となる論点は不動産登記である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

### Q0029

不動産

タグ：不動産登記

用語：不動産登記の確認ポイント9：土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度

不動産登記は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0029 正答：×

解説：誤り。不動産登記は土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

### Q0030

不動産

タグ：不動産登記

用語：不動産登記の確認ポイント10：土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度

不動産登記と他の類似概念を区別する際は、「土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0030 正答：○

解説：正しい。不動産登記の定義は土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度であり、類似概念との区別に使える。

### Q0031

不動産

タグ：公示価格

用語：公示価格の確認ポイント1：国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

次の説明に最も合う用語はどれか。国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

- A. 公示価格
- B. 路線価
- C. 媒介契約
- D. 用途地域

### 答え・解説

Q0031 正答：A. 公示価格

解説：公示価格は、国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

### Q0032

不動産

タグ：公示価格

用語：公示価格の確認ポイント2：国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

公示価格の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格
- B. 国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格
- C. 不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約
- D. 都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

### 答え・解説

Q0032 正答：B. 国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

解説：公示価格の要点は「国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

### Q0033

不動産

タグ：公示価格

用語：公示価格の確認ポイント3：国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「公示価格」である。

- A. 路線価：国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格
- B. 媒介契約：国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格
- C. 公示価格：国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格
- D. 用途地域：国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

### 答え・解説

Q0033 正答：C. 公示価格：国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

解説：正しい組合せは「公示価格：国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

### Q0034

不動産

タグ：公示価格

用語：公示価格の確認ポイント4：国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

「公示価格」は、国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0034 正答：○

解説：正しい。公示価格は国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

### Q0035

不動産

タグ：公示価格

用語：公示価格の確認ポイント5：国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

組織が「国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 公示価格
- B. 路線価
- C. 媒介契約
- D. 用途地域

### 答え・解説

Q0035 正答：A. 公示価格

解説：この目的に対応するのは公示価格である。国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格という機能・考え方を持つためである。

### Q0036

不動産

タグ：公示価格

用語：公示価格の確認ポイント6：国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

「公示価格」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度
- B. 国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格
- C. 不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約
- D. 相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

### 答え・解説

Q0036 正答：B. 国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

解説：公示価格は国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

### Q0037

不動産

タグ：公示価格

用語：公示価格の確認ポイント7：国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

「公示価格」は、相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0037 正答：×

解説：誤り。記述は路線価の説明である。公示価格は国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格。

### Q0038

不動産

タグ：公示価格

用語：公示価格の確認ポイント8：国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

次の状況で中心となる論点はどれか。「国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格」ことが求められている。

- A. 媒介契約
- B. 用途地域
- C. 路線価
- D. 公示価格

### 答え・解説

Q0038 正答：D. 公示価格

解説：中心となる論点は公示価格である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

### Q0039

不動産

タグ：公示価格

用語：公示価格の確認ポイント9：国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

公示価格を選定するときは、「国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格」という本来の目的に合うかを確認する。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0039 正答：○

解説：正しい。公示価格の選定・運用では、国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格という目的との適合を確認する。

### Q0040

不動産

タグ：公示価格

用語：公示価格の確認ポイント10：国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

公示価格は、国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格という説明とは無関係である。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0040 正答：×

解説：誤り。公示価格はまさに国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格という意味を持つ。

### Q0041

不動産

タグ：路線価

用語：路線価の確認ポイント1：相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

次の説明に最も合う用語はどれか。相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

- A. 重要事項説明
- B. 路線価
- C. 普通借家契約
- D. 建蔽率

### 答え・解説

Q0041 正答：B. 路線価

解説：路線価は、相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

### Q0042

不動産

タグ：路線価

用語：路線価の確認ポイント2：相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

路線価の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続
- B. 正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約
- C. 相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格
- D. 敷地面積に対する建築面積の割合

### 答え・解説

Q0042 正答：C. 相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

解説：路線価の要点は「相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

### Q0043

不動産

タグ：路線価

用語：路線価の確認ポイント3：相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「路線価」である。

- A. 重要事項説明：相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格
- B. 普通借家契約：相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格
- C. 建蔽率：相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格
- D. 路線価：相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

### 答え・解説

Q0043 正答：D. 路線価：相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

解説：正しい組合せは「路線価：相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

### Q0044

不動産

タグ：路線価

用語：路線価の確認ポイント4：相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

「路線価」は、相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0044 正答：○

解説：正しい。路線価は相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

### Q0045

不動産

タグ：路線価

用語：路線価の確認ポイント5：相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

組織が「相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 重要事項説明
- B. 路線価
- C. 普通借家契約
- D. 建蔽率

### 答え・解説

Q0045 正答：B. 路線価

解説：この目的に対応するのは路線価である。相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格という機能・考え方を持つためである。

### Q0046

不動産

タグ：路線価

用語：路線価の確認ポイント6：相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

「路線価」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 敷地面積に対する建築面積の割合
- B. 正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約
- C. 相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格
- D. 宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

### 答え・解説

Q0046 正答：C. 相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

解説：路線価は相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

### Q0047

不動産

タグ：路線価

用語：路線価の確認ポイント7：相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

「路線価」は、宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0047 正答：×

解説：誤り。記述は重要事項説明の説明である。路線価は相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格。

### Q0048

不動産

タグ：路線価

用語：路線価の確認ポイント8：相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

次の状況で中心となる論点はどれか。「相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格」ことが求められている。

- A. 路線価
- B. 普通借家契約
- C. 建蔽率
- D. 重要事項説明

### 答え・解説

Q0048 正答：A. 路線価

解説：中心となる論点は路線価である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

### Q0049

不動産

タグ：路線価

用語：路線価の確認ポイント9：相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

路線価は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0049 正答：×

解説：誤り。路線価は相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

### Q0050

不動産

タグ：路線価

用語：路線価の確認ポイント10：相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

路線価と他の類似概念を区別する際は、「相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0050 正答：○

解説：正しい。路線価の定義は相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格であり、類似概念との区別に使える。

### Q0051

不動産

タグ：重要事項説明

用語：重要事項説明の確認ポイント1：宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

次の説明に最も合う用語はどれか。宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

- A. 媒介契約
- B. 定期借家契約
- C. 重要事項説明
- D. 容積率

### 答え・解説

Q0051 正答：C. 重要事項説明

解説：重要事項説明は、宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

### Q0052

不動産

タグ：重要事項説明

用語：重要事項説明の確認ポイント2：宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

重要事項説明の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約
- B. 契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約
- C. 敷地面積に対する延べ面積の割合
- D. 宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

### 答え・解説

Q0052 正答：D. 宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

解説：重要事項説明の要点は「宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

### Q0053

不動産

タグ：重要事項説明

用語：重要事項説明の確認ポイント3：宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「重要事項説明」である。

- A. 重要事項説明：宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続
- B. 媒介契約：宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続
- C. 定期借家契約：宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続
- D. 容積率：宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

### 答え・解説

Q0053 正答：A. 重要事項説明：宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

解説：正しい組合せは「重要事項説明：宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

### Q0054

不動産

タグ：重要事項説明

用語：重要事項説明の確認ポイント4：宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

「重要事項説明」は、宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0054 正答：○

解説：正しい。重要事項説明は宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

### Q0055

不動産

タグ：重要事項説明

用語：重要事項説明の確認ポイント5：宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

組織が「宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 媒介契約
- B. 定期借家契約
- C. 重要事項説明
- D. 容積率

### 答え・解説

Q0055 正答：C. 重要事項説明

解説：この目的に対応するのは重要事項説明である。宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続という機能・考え方を持つためである。

### Q0056

不動産

タグ：重要事項説明

用語：重要事項説明の確認ポイント6：宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

「重要事項説明」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 敷地面積に対する延べ面積の割合
- B. 契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約
- C. 不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約
- D. 宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

### 答え・解説

Q0056 正答：D. 宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

解説：重要事項説明は宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

### Q0057

不動産

タグ：重要事項説明

用語：重要事項説明の確認ポイント7：宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

「重要事項説明」は、不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0057 正答：×

解説：誤り。記述は媒介契約の説明である。重要事項説明は宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続。

### Q0058

不動産

タグ：重要事項説明

用語：重要事項説明の確認ポイント8：宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

次の状況で中心となる論点はどれか。「宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続」ことが求められている。

A. 定期借家契約

B. 重要事項説明

C. 容積率

D. 媒介契約

### 答え・解説

Q0058 正答：B. 重要事項説明

解説：中心となる論点は重要事項説明である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

### Q0059

不動産

タグ：重要事項説明

用語：重要事項説明の確認ポイント9：宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

**重要事項説明を選定するときは、「宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続」という本来の目的に合うかを確認する。**

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0059 正答：○

解説：正しい。重要事項説明の選定・運用では、宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続という目的との適合を確認する。

### Q0060

不動産

タグ：重要事項説明

用語：重要事項説明の確認ポイント10：宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続

**重要事項説明は、宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続という説明とは無関係である。**

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0060 正答：×

解説：誤り。重要事項説明はまさに宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続という意味を持つ。

### Q0061

不動産

タグ：媒介契約

用語：媒介契約の確認ポイント1：不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約

次の説明に最も合う用語はどれか。不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約

- A. 普通借家契約
- B. 借地権
- C. 不動産取得税
- D. 媒介契約

### 答え・解説

Q0061 正答：D. 媒介契約

解説：媒介契約は、不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

### Q0062

不動産

タグ：媒介契約

用語：媒介契約の確認ポイント2：不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約

媒介契約の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約
- B. 正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約
- C. 建物所有を目的として他人の土地を利用する権利
- D. 土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

### 答え・解説

Q0062 正答：A. 不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約

解説：媒介契約の要点は「不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

### Q0063

不動産

タグ：媒介契約

用語：媒介契約の確認ポイント3：不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「媒介契約」である。

- A. 普通借家契約：不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約
- B. 媒介契約：不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約
- C. 借地権：不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約
- D. 不動産取得税：不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約

### 答え・解説

Q0063 正答：B. 媒介契約：不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約

解説：正しい組合せは「媒介契約：不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

### Q0064

不動産

タグ：媒介契約

用語：媒介契約の確認ポイント4：不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約

「媒介契約」は、不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0064 正答：○

解説：正しい。媒介契約は不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

### Q0065

不動産

タグ：媒介契約

用語：媒介契約の確認ポイント5：不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約

組織が「不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 普通借家契約
- B. 借地権
- C. 不動産取得税
- D. 媒介契約

### 答え・解説

Q0065 正答：D. 媒介契約

解説：この目的に対応するのは媒介契約である。不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約という機能・考え方を持つためである。

### Q0066

不動産

タグ：媒介契約

用語：媒介契約の確認ポイント6：不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約

「媒介契約」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約
- B. 土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税
- C. 建物所有を目的として他人の土地を利用する権利
- D. 正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

### 答え・解説

Q0066 正答：A. 不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約

解説：媒介契約は不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

### Q0067

不動産

タグ：媒介契約

用語：媒介契約の確認ポイント7：不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約

「媒介契約」は、正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0067 正答：×

解説：誤り。記述は普通借家契約の説明である。媒介契約は不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約。

### Q0068

不動産

タグ：媒介契約

用語：媒介契約の確認ポイント8：不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約

次の状況で中心となる論点はどれか。「不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約」ことが求められている。

A. 借地権

B. 不動産取得税

C. 媒介契約

D. 普通借家契約

### 答え・解説

Q0068 正答：C. 媒介契約

解説：中心となる論点は媒介契約である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

### Q0069

不動産

タグ：媒介契約

用語：媒介契約の確認ポイント9：不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約

媒介契約は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0069 正答：×

解説：誤り。媒介契約は不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

### Q0070

不動産

タグ：媒介契約

用語：媒介契約の確認ポイント10：不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約

媒介契約と他の類似概念を区別する際は、「不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0070 正答：○

解説：正しい。媒介契約の定義は不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約であり、類似概念との区別に使える。

### Q0071

不動産

タグ：普通借家契約

用語：普通借家契約の確認ポイント1：正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

次の説明に最も合う用語はどれか。正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

- A. 普通借家契約
- B. 定期借家契約
- C. 用途地域
- D. 固定資産税

### 答え・解説

Q0071 正答：A. 普通借家契約

解説：普通借家契約は、正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

### Q0072

不動産

タグ：普通借家契約

用語：普通借家契約の確認ポイント2：正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

普通借家契約の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約
- B. 正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約
- C. 都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度
- D. 土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税

### 答え・解説

Q0072 正答：B. 正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

解説：普通借家契約の要点は「正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

### Q0073

不動産

タグ：普通借家契約

用語：普通借家契約の確認ポイント3：正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「普通借家契約」である。

- A. 定期借家契約：正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約
- B. 用途地域：正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約
- C. 普通借家契約：正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約
- D. 固定資産税：正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

### 答え・解説

Q0073 正答：C. 普通借家契約：正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

解説：正しい組合せは「普通借家契約：正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約」。用語だけでなく、何を守り、何进行处理する概念かを確認する。

### Q0074

不動産

タグ：普通借家契約

用語：普通借家契約の確認ポイント4：正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

「普通借家契約」は、正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0074 正答：○

解説：正しい。普通借家契約は正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

### Q0075

不動産

タグ：普通借家契約

用語：普通借家契約の確認ポイント5：正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

組織が「正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 普通借家契約
- B. 定期借家契約
- C. 用途地域
- D. 固定資産税

### 答え・解説

Q0075 正答：A. 普通借家契約

解説：この目的に対応するのは普通借家契約である。正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約という機能・考え方を持つためである。

### Q0076

不動産

タグ：普通借家契約

用語：普通借家契約の確認ポイント6：正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

「普通借家契約」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税
- B. 正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約
- C. 都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度
- D. 契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約

### 答え・解説

Q0076 正答：B. 正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

解説：普通借家契約は正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

### Q0077

不動産

タグ：普通借家契約

用語：普通借家契約の確認ポイント7：正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

「普通借家契約」は、契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0077 正答：×

解説：誤り。記述は定期借家契約の説明である。普通借家契約は正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約。

### Q0078

不動産

タグ：普通借家契約

用語：普通借家契約の確認ポイント8：正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

次の状況で中心となる論点はどれか。「正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約」ことが求められている。

- A. 用途地域
- B. 固定資産税
- C. 定期借家契約
- D. 普通借家契約

### 答え・解説

Q0078 正答：D. 普通借家契約

解説：中心となる論点は普通借家契約である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

### Q0079

不動産

タグ：普通借家契約

用語：普通借家契約の確認ポイント9：正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

普通借家契約を選定するときは、「正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0079 正答：○

解説：正しい。普通借家契約の選定・運用では、正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約という目的との適合を確認する。

### Q0080

不動産

タグ：普通借家契約

用語：普通借家契約の確認ポイント10：正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約

普通借家契約は、正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0080 正答：×

解説：誤り。普通借家契約はまさに正当事由などにより更新拒絶が制限される建物賃貸借契約という意味を持つ。

### Q0081

不動産

タグ：定期借家契約

用語：定期借家契約の確認ポイント1：契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約

次の説明に最も合う用語はどれか。契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約

- A. 借地権
- B. 定期借家契約
- C. 建蔽率
- D. 所有権

### 答え・解説

Q0081 正答：B. 定期借家契約

解説：定期借家契約は、契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

### Q0082

不動産

タグ：定期借家契約

用語：定期借家契約の確認ポイント2：契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約

定期借家契約の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 建物所有を目的として他人の土地を利用する権利
- B. 敷地面積に対する建築面積の割合
- C. 契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約
- D. 法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

### 答え・解説

Q0082 正答：C. 契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約

解説：定期借家契約の要点は「契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

### Q0083

不動産

タグ：定期借家契約

用語：定期借家契約の確認ポイント3：契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「定期借家契約」である。

- A. 借地権：契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約
- B. 建蔽率：契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約
- C. 所有権：契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約
- D. 定期借家契約：契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約

### 答え・解説

Q0083 正答：D. 定期借家契約：契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約

解説：正しい組合せは「定期借家契約：契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

### Q0084

不動産

タグ：定期借家契約

用語：定期借家契約の確認ポイント4：契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約

「定期借家契約」は、契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0084 正答：○

解説：正しい。定期借家契約は契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

### Q0085

不動産

タグ：定期借家契約

用語：定期借家契約の確認ポイント5：契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約

組織が「契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 借地権
- B. 定期借家契約
- C. 建蔽率
- D. 所有権

### 答え・解説

Q0085 正答：B. 定期借家契約

解説：この目的に対応するのは定期借家契約である。契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約という機能・考え方を持つためである。

### Q0086

不動産

タグ：定期借家契約

用語：定期借家契約の確認ポイント6：契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約

「定期借家契約」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利
- B. 敷地面積に対する建築面積の割合
- C. 契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約
- D. 建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

### 答え・解説

Q0086 正答：C. 契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約

解説：定期借家契約は契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

### Q0087

不動産

タグ：定期借家契約

用語：定期借家契約の確認ポイント7：契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約

「定期借家契約」は、建物所有を目的として他人の土地を利用する権利。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0087 正答：×

解説：誤り。記述は借地権の説明である。定期借家契約は契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約。

### Q0088

不動産

タグ：定期借家契約

用語：定期借家契約の確認ポイント8：契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約

次の状況で中心となる論点はどれか。「契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約」ことが求められている。

A. 定期借家契約

B. 建蔽率

C. 所有権

D. 借地権

### 答え・解説

Q0088 正答：A. 定期借家契約

解説：中心となる論点は定期借家契約である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

### Q0089

不動産

タグ：定期借家契約

用語：定期借家契約の確認ポイント9：契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約

定期借家契約は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0089 正答：×

解説：誤り。定期借家契約は契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

### Q0090

不動産

タグ：定期借家契約

用語：定期借家契約の確認ポイント10：契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約

定期借家契約と他の類似概念を区別する際は、「契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0090 正答：○

解説：正しい。定期借家契約の定義は契約期間満了で更新なく終了する旨を定める建物賃貸借契約であり、類似概念との区別に使える。

### Q0091

不動産

タグ：借地権

用語：借地権の確認ポイント1：建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

次の説明に最も合う用語はどれか。建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

- A. 用途地域
- B. 容積率
- C. 借地権
- D. 抵当権

### 答え・解説

Q0091 正答：C. 借地権

解説：借地権は、建物所有を目的として他人の土地を利用する権利。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

### Q0092

不動産

タグ：借地権

用語：借地権の確認ポイント2：建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

借地権の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度
- B. 敷地面積に対する延べ面積の割合
- C. 債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利
- D. 建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

### 答え・解説

Q0092 正答：D. 建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

解説：借地権の要点は「建物所有を目的として他人の土地を利用する権利」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

### Q0093

不動産

タグ：借地権

用語：借地権の確認ポイント3：建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「借地権」である。

- A. 借地権：建物所有を目的として他人の土地を利用する権利
- B. 用途地域：建物所有を目的として他人の土地を利用する権利
- C. 容積率：建物所有を目的として他人の土地を利用する権利
- D. 抵当権：建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

### 答え・解説

Q0093 正答：A. 借地権：建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

解説：正しい組合せは「借地権：建物所有を目的として他人の土地を利用する権利」。  
。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

### Q0094

不動産

タグ：借地権

用語：借地権の確認ポイント4：建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

「借地権」は、建物所有を目的として他人の土地を利用する権利。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0094 正答：○

解説：正しい。借地権は建物所有を目的として他人の土地を利用する権利。実務では  
対象、目的、前提条件を併せて確認する。

### Q0095

不動産

タグ：借地権

用語：借地権の確認ポイント5：建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

組織が「建物所有を目的として他人の土地を利用する権利」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 用途地域
- B. 容積率
- C. 借地権
- D. 抵当権

### 答え・解説

Q0095 正答：C. 借地権

解説：この目的に対応するのは借地権である。建物所有を目的として他人の土地を利用する権利という機能・考え方を持つためである。

### Q0096

不動産

タグ：借地権

用語：借地権の確認ポイント6：建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

「借地権」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利
- B. 敷地面積に対する延べ面積の割合
- C. 都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度
- D. 建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

### 答え・解説

Q0096 正答：D. 建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

解説：借地権は建物所有を目的として他人の土地を利用する権利。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

### Q0097

不動産

タグ：借地権

用語：借地権の確認ポイント7：建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

「借地権」は、都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0097 正答：×

解説：誤り。記述は用途地域の説明である。借地権は建物所有を目的として他人の土地を利用する権利。

### Q0098

不動産

タグ：借地権

用語：借地権の確認ポイント8：建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

次の状況で中心となる論点はどれか。「建物所有を目的として他人の土地を利用する権利」ことが求められている。

A. 容積率

B. 借地権

C. 抵当権

D. 用途地域

### 答え・解説

Q0098 正答：B. 借地権

解説：中心となる論点は借地権である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

### Q0099

不動産

タグ：借地権

用語：借地権の確認ポイント9：建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

借地権を選定するときは、「建物所有を目的として他人の土地を利用する権利」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0099 正答：○

解説：正しい。借地権の選定・運用では、建物所有を目的として他人の土地を利用する権利という目的との適合を確認する。

### Q0100

不動産

タグ：借地権

用語：借地権の確認ポイント10：建物所有を目的として他人の土地を利用する権利

借地権は、建物所有を目的として他人の土地を利用する権利という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0100 正答：×

解説：誤り。借地権はまさに建物所有を目的として他人の土地を利用する権利という意味を持つ。

### Q0101

不動産

タグ：用途地域

用語：用途地域の確認ポイント1：都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

次の説明に最も合う用語はどれか。都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

- A. 建蔽率
- B. 不動産取得税
- C. 不動産登記
- D. 用途地域

### 答え・解説

Q0101 正答：D. 用途地域

解説：用途地域は、都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

### Q0102

不動産

タグ：用途地域

用語：用途地域の確認ポイント2：都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

用途地域の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度
- B. 敷地面積に対する建築面積の割合
- C. 土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税
- D. 土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度

### 答え・解説

Q0102 正答：A. 都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

解説：用途地域の要点は「都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

### Q0103

不動産

タグ：用途地域

用語：用途地域の確認ポイント3：都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「用途地域」である。

- A. 建蔽率：都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度
- B. 用途地域：都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度
- C. 不動産取得税：都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度
- D. 不動産登記：都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

### 答え・解説

Q0103 正答：B. 用途地域：都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

解説：正しい組合せは「用途地域：都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

### Q0104

不動産

タグ：用途地域

用語：用途地域の確認ポイント4：都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

「用途地域」は、都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0104 正答：○

解説：正しい。用途地域は都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

### Q0105

不動産

タグ：用途地域

用語：用途地域の確認ポイント5：都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

組織が「都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 建蔽率
- B. 不動産取得税
- C. 不動産登記
- D. 用途地域

### 答え・解説

Q0105 正答：D. 用途地域

解説：この目的に対応するのは用途地域である。都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度という機能・考え方を持つためである。

### Q0106

不動産

タグ：用途地域

用語：用途地域の確認ポイント6：都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

「用途地域」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度
- B. 土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度
- C. 土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税
- D. 敷地面積に対する建築面積の割合

### 答え・解説

Q0106 正答：A. 都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

解説：用途地域は都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

### Q0107

不動産

タグ：用途地域

用語：用途地域の確認ポイント7：都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

「用途地域」は、敷地面積に対する建築面積の割合。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0107 正答：×

解説：誤り。記述は建蔽率の説明である。用途地域は都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度。

### Q0108

不動産

タグ：用途地域

用語：用途地域の確認ポイント8：都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

次の状況で中心となる論点はどれか。「都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度」ことが求められている。

- A. 不動産取得税
- B. 不動産登記
- C. 用途地域
- D. 建蔽率

### 答え・解説

Q0108 正答：C. 用途地域

解説：中心となる論点は用途地域である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

### Q0109

不動産

タグ：用途地域

用語：用途地域の確認ポイント9：都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

用途地域は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0109 正答：×

解説：誤り。用途地域は都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

### Q0110

不動産

タグ：用途地域

用語：用途地域の確認ポイント10：都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度

用途地域と他の類似概念を区別する際は、「都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0110 正答：○

解説：正しい。用途地域の定義は都市計画で建築できる建物の用途などを地域別に制限する制度であり、類似概念との区別に使える。

### Q0111

不動産

タグ：建蔽率

用語：建蔽率の確認ポイント1：敷地面積に対する建築面積の割合

次の説明に最も合う用語はどれか。敷地面積に対する建築面積の割合

- A. 建蔽率
- B. 容積率
- C. 固定資産税
- D. 公示価格

### 答え・解説

Q0111 正答：A. 建蔽率

解説：建蔽率は、敷地面積に対する建築面積の割合。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

### Q0112

不動産

タグ：建蔽率

用語：建蔽率の確認ポイント2：敷地面積に対する建築面積の割合

建蔽率の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 敷地面積に対する延べ面積の割合
- B. 敷地面積に対する建築面積の割合
- C. 土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税
- D. 国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格

### 答え・解説

Q0112 正答：B. 敷地面積に対する建築面積の割合

解説：建蔽率の要点は「敷地面積に対する建築面積の割合」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

### Q0113

不動産

タグ：建蔽率

用語：建蔽率の確認ポイント3：敷地面積に対する建築面積の割合

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「建蔽率」である。

- A. 容積率：敷地面積に対する建築面積の割合
- B. 固定資産税：敷地面積に対する建築面積の割合
- C. 建蔽率：敷地面積に対する建築面積の割合
- D. 公示価格：敷地面積に対する建築面積の割合

### 答え・解説

Q0113 正答：C. 建蔽率：敷地面積に対する建築面積の割合

解説：正しい組合せは「建蔽率：敷地面積に対する建築面積の割合」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

### Q0114

不動産

タグ：建蔽率

用語：建蔽率の確認ポイント4：敷地面積に対する建築面積の割合

「建蔽率」は、敷地面積に対する建築面積の割合。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0114 正答：○

解説：正しい。建蔽率は敷地面積に対する建築面積の割合。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

### Q0115

不動産

タグ：建蔽率

用語：建蔽率の確認ポイント5：敷地面積に対する建築面積の割合

組織が「敷地面積に対する建築面積の割合」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 建蔽率
- B. 容積率
- C. 固定資産税
- D. 公示価格

### 答え・解説

Q0115 正答：A. 建蔽率

解説：この目的に対応するのは建蔽率である。敷地面積に対する建築面積の割合という機能・考え方を持つためである。

### Q0116

不動産

タグ：建蔽率

用語：建蔽率の確認ポイント6：敷地面積に対する建築面積の割合

「建蔽率」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 国土交通省の土地鑑定委員会が標準地について公示する価格
- B. 敷地面積に対する建築面積の割合
- C. 土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税
- D. 敷地面積に対する延べ面積の割合

### 答え・解説

Q0116 正答：B. 敷地面積に対する建築面積の割合

解説：建蔽率は敷地面積に対する建築面積の割合。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

### Q0117

不動産

タグ：建蔽率

用語：建蔽率の確認ポイント7：敷地面積に対する建築面積の割合

「建蔽率」は、敷地面積に対する延べ面積の割合。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0117 正答：×

解説：誤り。記述は容積率の説明である。建蔽率は敷地面積に対する建築面積の割合。

### Q0118

不動産

タグ：建蔽率

用語：建蔽率の確認ポイント8：敷地面積に対する建築面積の割合

次の状況で中心となる論点はどれか。「敷地面積に対する建築面積の割合」ことが求められている。

- A. 固定資産税
- B. 公示価格
- C. 容積率
- D. 建蔽率

### 答え・解説

Q0118 正答：D. 建蔽率

解説：中心となる論点は建蔽率である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

### Q0119

不動産

タグ：建蔽率

用語：建蔽率の確認ポイント9：敷地面積に対する建築面積の割合

建蔽率を選定するときは、「敷地面積に対する建築面積の割合」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0119 正答：○

解説：正しい。建蔽率の選定・運用では、敷地面積に対する建築面積の割合という目的との適合を確認する。

### Q0120

不動産

タグ：建蔽率

用語：建蔽率の確認ポイント10：敷地面積に対する建築面積の割合

建蔽率は、敷地面積に対する建築面積の割合という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0120 正答：×

解説：誤り。建蔽率はまさに敷地面積に対する建築面積の割合という意味を持つ。

### Q0121

不動産

タグ：容積率

用語：容積率の確認ポイント1：敷地面積に対する延べ面積の割合

次の説明に最も合う用語はどれか。敷地面積に対する延べ面積の割合

- A. 不動産取得税
- B. 容積率
- C. 所有権
- D. 路線価

### 答え・解説

Q0121 正答：B. 容積率

解説：容積率は、敷地面積に対する延べ面積の割合。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

### Q0122

不動産

タグ：容積率

用語：容積率の確認ポイント2：敷地面積に対する延べ面積の割合

容積率の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税
- B. 法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利
- C. 敷地面積に対する延べ面積の割合
- D. 相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格

### 答え・解説

Q0122 正答：C. 敷地面積に対する延べ面積の割合

解説：容積率の要点は「敷地面積に対する延べ面積の割合」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

### Q0123

不動産

タグ：容積率

用語：容積率の確認ポイント3：敷地面積に対する延べ面積の割合

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「容積率」である。

- A. 不動産取得税：敷地面積に対する延べ面積の割合
- B. 所有権：敷地面積に対する延べ面積の割合
- C. 路線価：敷地面積に対する延べ面積の割合
- D. 容積率：敷地面積に対する延べ面積の割合

### 答え・解説

Q0123 正答：D. 容積率：敷地面積に対する延べ面積の割合

解説：正しい組合せは「容積率：敷地面積に対する延べ面積の割合」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

### Q0124

不動産

タグ：容積率

用語：容積率の確認ポイント4：敷地面積に対する延べ面積の割合

「容積率」は、敷地面積に対する延べ面積の割合。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0124 正答：○

解説：正しい。容積率は敷地面積に対する延べ面積の割合。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

### Q0125

不動産

タグ：容積率

用語：容積率の確認ポイント5：敷地面積に対する延べ面積の割合

組織が「敷地面積に対する延べ面積の割合」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 不動産取得税
- B. 容積率
- C. 所有権
- D. 路線価

### 答え・解説

Q0125 正答：B. 容積率

解説：この目的に対応するのは容積率である。敷地面積に対する延べ面積の割合という機能・考え方を持つためである。

### Q0126

不動産

タグ：容積率

用語：容積率の確認ポイント6：敷地面積に対する延べ面積の割合

「容積率」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 相続税・贈与税の土地評価に用いる道路ごとの価格
- B. 法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利
- C. 敷地面積に対する延べ面積の割合
- D. 土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

### 答え・解説

Q0126 正答：C. 敷地面積に対する延べ面積の割合

解説：容積率は敷地面積に対する延べ面積の割合。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

### Q0127

不動産

タグ：容積率

用語：容積率の確認ポイント7：敷地面積に対する延べ面積の割合

「容積率」は、土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0127 正答：×

解説：誤り。記述は不動産取得税の説明である。容積率は敷地面積に対する延べ面積の割合。

### Q0128

不動産

タグ：容積率

用語：容積率の確認ポイント8：敷地面積に対する延べ面積の割合

次の状況で中心となる論点はどれか。「敷地面積に対する延べ面積の割合」ことが求められている。

A. 容積率

B. 所有権

C. 路線価

D. 不動産取得税

### 答え・解説

Q0128 正答：A. 容積率

解説：中心となる論点は容積率である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

### Q0129

不動産

タグ：容積率

用語：容積率の確認ポイント9：敷地面積に対する延べ面積の割合

容積率は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0129 正答：×

解説：誤り。容積率は敷地面積に対する延べ面積の割合という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

### Q0130

不動産

タグ：容積率

用語：容積率の確認ポイント10：敷地面積に対する延べ面積の割合

容積率と他の類似概念を区別する際は、「敷地面積に対する延べ面積の割合」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0130 正答：○

解説：正しい。容積率の定義は敷地面積に対する延べ面積の割合であり、類似概念との区別に使える。

### Q0131

不動産

タグ：不動産取得税

用語：不動産取得税の確認ポイント1：土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

次の説明に最も合う用語はどれか。土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

- A. 固定資産税
- B. 抵当権
- C. 不動産取得税
- D. 重要事項説明

### 答え・解説

Q0131 正答：C. 不動産取得税

解説：不動産取得税は、土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

### Q0132

不動産

タグ：不動産取得税

用語：不動産取得税の確認ポイント2：土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

不動産取得税の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税
- B. 債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利
- C. 宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続
- D. 土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

### 答え・解説

Q0132 正答：D. 土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

解説：不動産取得税の要点は「土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

### Q0133

不動産

タグ：不動産取得税

用語：不動産取得税の確認ポイント3：土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「不動産取得税」である。

- A. 不動産取得税：土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税
- B. 固定資産税：土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税
- C. 抵当権：土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税
- D. 重要事項説明：土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

### 答え・解説

Q0133 正答：A. 不動産取得税：土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

解説：正しい組合せは「不動産取得税：土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

### Q0134

不動産

タグ：不動産取得税

用語：不動産取得税の確認ポイント4：土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

「不動産取得税」は、土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0134 正答：○

解説：正しい。不動産取得税は土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

### Q0135

不動産

タグ：不動産取得税

用語：不動産取得税の確認ポイント5：土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

組織が「土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 固定資産税
- B. 抵当権
- C. 不動産取得税
- D. 重要事項説明

### 答え・解説

Q0135 正答：C. 不動産取得税

解説：この目的に対応するのは不動産取得税である。土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税という機能・考え方を持つためである。

### Q0136

不動産

タグ：不動産取得税

用語：不動産取得税の確認ポイント6：土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

「不動産取得税」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 宅地建物取引業者が契約前に重要な事項を説明する手続
- B. 債務者が占有を移さず不動産を担保とし優先弁済を受ける権利
- C. 土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税
- D. 土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

### 答え・解説

Q0136 正答：D. 土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

解説：不動産取得税は土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

### Q0137

不動産

タグ：不動産取得税

用語：不動産取得税の確認ポイント7：土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

「不動産取得税」は、土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0137 正答：×

解説：誤り。記述は固定資産税の説明である。不動産取得税は土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税。

### Q0138

不動産

タグ：不動産取得税

用語：不動産取得税の確認ポイント8：土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

次の状況で中心となる論点はどれか。「土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税」ことが求められている。

A. 抵当権

B. 不動産取得税

C. 重要事項説明

D. 固定資産税

### 答え・解説

Q0138 正答：B. 不動産取得税

解説：中心となる論点は不動産取得税である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

### Q0139

不動産

タグ：不動産取得税

用語：不動産取得税の確認ポイント9：土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

不動産取得税を選定するときは、「土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0139 正答：○

解説：正しい。不動産取得税の選定・運用では、土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税という目的との適合を確認する。

### Q0140

不動産

タグ：不動産取得税

用語：不動産取得税の確認ポイント10：土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税

不動産取得税は、土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0140 正答：×

解説：誤り。不動産取得税はまさに土地や家屋を取得した者に都道府県が課す税という意味を持つ。

### Q0141

不動産

タグ：固定資産税

用語：固定資産税の確認ポイント1：土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税

次の説明に最も合う用語はどれか。土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税

- A. 所有権
- B. 不動産登記
- C. 媒介契約
- D. 固定資産税

### 答え・解説

Q0141 正答：D. 固定資産税

解説：固定資産税は、土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

### Q0142

不動産

タグ：固定資産税

用語：固定資産税の確認ポイント2：土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税

固定資産税の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税
- B. 法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利
- C. 土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度
- D. 不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約

### 答え・解説

Q0142 正答：A. 土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税

解説：固定資産税の要点は「土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

### Q0143

不動産

タグ：固定資産税

用語：固定資産税の確認ポイント3：土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「固定資産税」である。

- A. 所有権：土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税
- B. 固定資産税：土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税
- C. 不動産登記：土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税
- D. 媒介契約：土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税

### 答え・解説

Q0143 正答：B. 固定資産税：土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税

解説：正しい組合せは「固定資産税：土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税」。  
用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

### Q0144

不動産

タグ：固定資産税

用語：固定資産税の確認ポイント4：土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税

「固定資産税」は、土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税。

- A. ○
- B. ×

### 答え・解説

Q0144 正答：○

解説：正しい。固定資産税は土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

### Q0145

不動産

タグ：固定資産税

用語：固定資産税の確認ポイント5：土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税

組織が「土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 所有権
- B. 不動産登記
- C. 媒介契約
- D. 固定資産税

### 答え・解説

Q0145 正答：D. 固定資産税

解説：この目的に対応するのは固定資産税である。土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税という機能・考え方を持つためである。

### Q0146

不動産

タグ：固定資産税

用語：固定資産税の確認ポイント6：土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税

「固定資産税」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税
- B. 不動産取引の仲介を宅地建物取引業者へ依頼する契約
- C. 土地・建物の物理的状況や権利関係を公示する制度
- D. 法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利

### 答え・解説

Q0146 正答：A. 土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税

解説：固定資産税は土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

### Q0147

不動産

タグ：固定資産税

用語：固定資産税の確認ポイント7：土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税

「固定資産税」は、法令の制限内で物を使用・収益・処分できる権利。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0147 正答：×

解説：誤り。記述は所有権の説明である。固定資産税は土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税。

### Q0148

不動産

タグ：固定資産税

用語：固定資産税の確認ポイント8：土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税

次の状況で中心となる論点はどれか。「土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税」ことが求められている。

A. 不動産登記

B. 媒介契約

C. 固定資産税

D. 所有権

### 答え・解説

Q0148 正答：C. 固定資産税

解説：中心となる論点は固定資産税である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

### Q0149

不動産

タグ：固定資産税

用語：固定資産税の確認ポイント9：土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税

固定資産税は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0149 正答：×

解説：誤り。固定資産税は土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

### Q0150

不動産

タグ：固定資産税

用語：固定資産税の確認ポイント10：土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税

固定資産税と他の類似概念を区別する際は、「土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

### 答え・解説

Q0150 正答：○

解説：正しい。固定資産税の定義は土地・家屋などの所有者に市町村等が課す税であり、類似概念との区別に使える。